

食物経口負荷試験の治療のため診療を受けられた患者様およびご家族様へ

福岡東医療センター 栄養管理室では以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	耐性獲得困難な食物アレルギーに対する移行期支援の取り組み
【研究実施期間】	倫理委員会承認日～2026年3月31日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 栄養管理室 研究責任者 小野 菜月
【対象となる方】	2025年8月6日から9月11日に小児科にて、即時型食物アレルギーの診療のため入院し、食物経口負荷試験かつ移行期支援プログラムを受けた方6名
【研究の意義、目的、方法】	この研究は、食物アレルギーをもつお子さんが、食物アレルギーのことを理解し、将来自分で管理できるようになることを目的に行っています。これまでは主に保護者の方への食事指導が中心でしたが、成長とともにお子さん自身が正しい知識を持つことが大切です。当院では、医師・看護師・管理栄養士が協力し、アレルギーの仕組みや食べ物の選び方、症状が出たときの対応などをわかりやすく学べる「移行期支援プログラム」を実施しています。入院中にアンケートや集団教育を行い、確認テストで学びの効果を確認します。内容は日常生活に関わる範囲で行い、お子さんに負担のないよう配慮します。参加にあたっては、お子さんと保護者の方に内容を説明し、理解・同意をいただいたうえで実施します。また、食事指導も保護者の方だけでなく、お子さん本人にも実施します。個人が特定されることはなく、結果は匿名化してまとめます。
【利用する情報の種類】	年齢、性別、食物アレルギー項目、移行期支援プログラムで実施したアンケート・確認テストの回答内容を使用します。

【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者：栄養管理室 小野 菜月 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331（代表）